

音楽鑑賞において演奏者の映像が楽曲の認知に及ぼす影響

吉野 巖 ・ 瀧ヶ平悠史#
(北海道教育大学札幌校)

現在の音楽鑑賞授業では、LDなどの視聴覚教材を使用することが多い。例えば、オペラやバレエ音楽など舞台芸術の映像、標題音楽のストーリーや絶対音楽の抽象的イメージをアニメ化したもの (ex. Disney映画のFantasia)、音楽とは直接関係ない風景の映像 (ex. 名曲アルバム)、その音楽を演奏する演奏者の映像などである。一般に、映像付き音楽は興味を高めたり、注意を持続させるという動機付けの効果をもつことは経験的に認められるであろう。さらに“演奏者の映像”については、表情や動作などから演奏者の意図する音楽表現が聞き手に伝わりやすくなるという効果が知られている (Davidson, 1993; 下迫・大串, 1996)。

こうした映像の効果が認められる一方、音楽そのものの認知や印象にどのような効果があるかは検討されていない。本研究は、演奏者の映像を対象とし、演奏者の演奏場面の映像が楽曲の特徴の認知にどのような影響を及ぼすかを調べる。具体的には、音響のみ条件 (Auditory: A条件) もしくは映像付き条件 (Visual & Auditory: VA条件) で楽曲を提示し、感情価評定 (楽曲の感情的性格についての評定) と自由記述 (曲の特徴について気づいたことを自由に記述) にどのような違いが生じるかを調べる。ただしそうした違いは発達段階によって異なる可能性がある。そこで、本研究では児童と成人を対象とすることにより、発達の要因の効果についても検討する。

方法

被験者

北海道教育大学札幌校の付属小5年生77名と大学生21名

音楽材料

ピアノ曲3曲 (エリーゼの為に、ユーモレスク、子犬のワルツ) とピアノ伴奏のヴァイオリン独奏曲2曲 (タイスの瞑想曲、金婚式) を使用した (長さは2~4分)。演奏は本学の音楽専任教官が行い、演奏場면을デジタルビデオで撮影した。映像と音響のPCでの編集・記録は "Creative Wave Studio" を使用し、VHSテープとCD-Rに記録した。これらをVA条件ではテレビとビデオデッキで映像と音を提示し、A条件ではCDプレーヤーで音のみを提示した。

手続き

実験は、各条件・学年群ごとに集団で行った。どちらの提示条件でも、被験者は楽曲を聴いた後、楽曲の感情価に関する5つの項目の評定と自由記述を行った。評定項目は、谷口 (1998) の音楽的感情価測定尺度 (AVSM) の5因子から1つずつ項目を作成したもので (明るく楽しい感じ、暗く悲しい感じ、優しく穏やかな感じ、とても強く激しい感じ、軽やかで軽快な感じ)、それぞれ5段階 (そう思う~そうは思わない) で評定させた。自由記述については、今聴いた曲から感じたこと・気づいたことをできるだけたくさん書き出して下さい、と教示した。被験者は、5曲全てについて以上の課題を3分間で行った。

結果

感情価の評定

各楽曲・各評定項目ごとに、評定値に関して提示条件と学年の2要因による分散分析を行った。いずれの項目でも提示条件の主効果は認められなかったが、学年の主効果と交互作用はいくつかの項目で認められた。一般に小5生の評定値は大学生より高く、特にいくつかの曲の“強激”“軽快”“暗悲”項目で有意差が認められた。ただ、5年生と大学生の評定値には強い相関が認められたので (VA: .95, A: .92)、全体的なパターンはほぼ同じといえる。

自由記述

記述数 楽曲の特徴について記述した一まとまりを1単位として数え、各曲ごとの記述数を求めた。記述数に関して提示条件と学年の2要因の分散分析を行ったところ交互作用が有意であり ($F(1,486)=12.13, p<.01$)、5年生ではVA条件よりもA条件が有意に多く、大学生では逆になった (図1)。

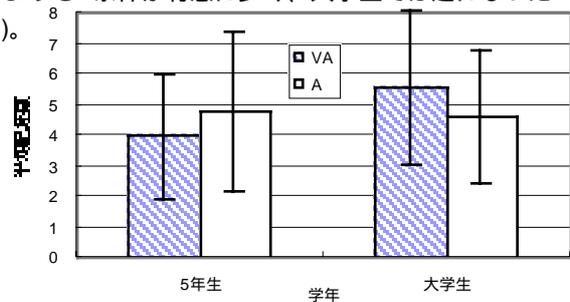


図1. 自由記述における記述数

カテゴリー分け 各記述1単位を表1に示した8つのカテゴリーに分類して集計した。条件間の違いに着目すると、小5生では特に比喩的記述、構造的記述、感情的記述がA条件で多かった。大学生では特に感情的記述、比喩的記述、楽器/音質に関する記述がVA条件で多かった。

考察

感情価の評定に条件の違いが見られなかったことから、演奏者の映像は曲の基本的な印象を感じ取るには影響しないといえる。自由記述に関して、一般的に映像は小5生には負の効果を、大学生には正の効果もたらした。小5生は映像情報を音響情報とうまく統合して整理できず、逆に大学生はそれらをうまく統合し細かい曲の特徴を感じ取ることができたのであろう。小5生は、映像がない場合は音への集中により、楽曲の構造的特徴に敏感になったり、比喩的にイメージを膨らませることができるともいえる。

表1. 各カテゴリーごとの平均記述数 (5曲合計)

カテゴリー名	記述例	小5生		大学生	
		VA	A	VA	A
感情	元気な、さびしい	8.82	9.51	13.00	10.70
比喩	踊っているような	2.82	4.46	4.18	3.40
音量	音が大きい	1.45	1.28	0.64	0.40
速さ	速い・遅い	2.37	2.00	3.09	2.80
楽器/音質	ピアノだ、ボーッ	1.03	1.10	2.64	1.10
構造	途中で~になった	3.18	5.28	3.91	3.90
曲の評価	良い・悪い	0.05	0.00	0.27	0.00
既知性	知ってる、知らない	0.08	0.10	0.18	0.70